

長浜 敢史氏

(株)アットランド 代表取締役

長野県諏訪市に本社を置く(株)アットランドは、社長の長浜敢史氏が広告代理店勤務を経て29歳で立ち上げたシステム開発会社。当初はホームページ制作を主業務とし、これまで旅館やシティホテルといった宿泊施設のホームページを数多く手がけており、近年はレジャーホテル業界にも手を広げている。さらに今年、中小規模の宿泊施設向け管理システムを新たに開発し、宿泊業界から注目を集めている。今回は、この新しい管理システムのポイントを伺うとともに、宿泊業界に対する同社のアプローチなどについて、長浜社長に語っていただいた。

▶ 導入・維持コスト抑え使いやすい ▶ 中小宿泊施設向け管理システムを開発

——まず新たに開発した宿泊施設向け管理システムについて、お聞かせください。

長浜 主に10～50部屋規模の宿泊施設での利用を想定、サーバをクラウド化することで導入・維持コストを大幅に軽減しました。また、予約業務や会計、チェックイン・チェックアウトの管理、ルームオーダー管理、顧客管理など機能を必要最低限に絞り込むことでシンプルな使いやすさを追求しました。スマートフォンやiPadなどのモバイル端末で操作できるので、パソコン操作に不慣れなホテルオーナーでも簡単に取り扱うことができます。

——サーバをクラウド化したことのメリットについて、もう少し詳しく教えてください。

長浜 従来のホテル管理システムの多くは、各施設や社内に専用のサーバを設けてシステムを導入するので、多大な導入コストがかかっていました。導入後のメンテナンスや不具合対応もサーバごとに行なうため費用と手間がかかり、パソコンが老朽化したらシステムをすべて入れ替えなければならないなど、結果として維持コストも膨らむ構造でした。

サーバをクラウド化した弊社の管理システムでは、1か所のクラウドサーバに収められたシステムを複数の企業や施設

が共有するため、各施設の導入・維持コストはかなり安く抑えられます。もちろん施設が保有する顧客データなどのセキュリティ対策は万全です。メンテナンスや不具合対応についても1か所のクラウドサーバに対して常駐のエンジニアが対処するので、対応は迅速です。

パソコンやiPad、スマートフォンなどインターネットに接続できる機器と環境があれば、誰でもすぐに利用が可能です。多忙なオーナーさまであれば外出先から操作やチェックをすることもできます。またレジャーホテルの場合、フロントはもちろん、清掃スタッフなどにも携帯端末を持たせることで部屋の利用状況などの情報をリアルタイムで共有し、清掃作業の効率化などにも役立つでしょう。

▶ 顧客と一緒に“育てる” ▶ ホームページ制作でも実績多数

——貴社は、宿泊施設のホームページ制作でも、多くの実績をあげていますね。

長浜 はい。これまで北は仙台から南は鹿児島まで、全国の旅館やシティホテルのホームページ制作を多数手がけてきました。SEO対策でも高い評価をいただいております。近年はインバウンド集客を狙って多言語対応のホームページを要望される宿泊施設もふえてきており、弊社でもさまざまなプランをご

提案いたします。

——レジャーホテルのホームページ制作も行なっているのですか。

長浜 ここ数年ははじめばかりなので、まだ取引先は少ないですが、レジャーホテル特有の経営形態や集客ポイントといった知識やノウハウも身につけることができ、集客力の高いホームページをご提案しています。今後、レジャーホテル業界でもさらに手を広げていければと考えています。

——ホームページ制作会社としての、貴社のセールスポイントは。

長浜 作ったら作りっぱなしの制作会社が多いなか、弊社はお客さまとコミュニケーションを図りながら“二人三脚で一緒にホームページを育てていく”というスタンスで業務に取り組んでいます。そのうえで、アクセス数を増やすためにはどうしたらいいか、季節イベントやキャンペーンなどをどう展開していくかなど、“ホームページを核としたセールスプロモーション”のお手伝いをさせていただければと考えています。

旅館やシティホテルといった他業態のホームページ制作を通して、これまで培ったノウハウを活用することもできます。FacebookやTwitterなどのSNSとの連動、プレスとの連動による複合的なキャンペーン展開など、オーナーさまの集客戦略に合わせた具体的なお提案をさせていただきます。

お客さまと二人三脚でサイトを育てていく そんなスタンスで事業に取り組んでいます



1974年大阪府生まれ。広告代理店勤務を経て2007年に独立し(株)アットランドを設立、代表取締役就任。結婚して一男一女をもうける。趣味はガーデニング。

会社名/株アットランド

住所/長野県諏訪市沖田町2-80-2 矢崎沖田ビル1階

連絡先/0266-52-2040

設立/2007年12月

業務内容/ホームページ作成・管理、ホームページ導入支援、ドメイン取得代行～管理代行、WEBサーバの構築・ホスティングサービス、顧客管理システム等の構築、スクリプト制作・カスタマイズ、印刷物作成、ロゴ制作・印刷物等のデザイン、社内ネットワークの構築、パソコンの設置・設定・保守メンテナンス ほか



新たに開発した中小宿泊施設向け管理システム。パソコンだけでなくモバイル端末の画面上で操作できるのも大きな特徴だ



音楽プロデューサーを目指しロンドンに“遊学”していたころの長浜社長。バックパッカーとしてヨーロッパを旅したこともあり、多くの貴重な経験をしたという



音楽家目指しロンドンへ“遊学” 若き日の経験がいまに繋がる

——いまは長野県に拠点を構えていますが、ご出身はどちらですか。

長浜 生まれは大阪です。3歳で東京に移り、10歳のときに再度の引っ越しで長野にきました。

若い頃は音楽関係の仕事に就きたいと考えていました。ちょうど小室哲哉さんらの音楽が流行っていた影響もあって、音楽プロデューサーになりたいと思い、高校卒業後に音楽関連の専門学校に進学し、音楽理論などを学びました。そして卒業後、しばらく働いてお金を貯め、ロンドンに1年間行ってきました。

——音楽留学ですか。

長浜 どちらかという“遊学”ですね。もともとビートルズやレッドツェッペリンといったブリティッシュロックが好きだったので、その本場であるロンドンに行けば、何か得られるものがあるの

ではないかと考え、チケットとスーツケースだけ持って単身渡英しました。

結果は、打ちのめされましたね(笑)。ライブハウスで演奏するアマチュアバンドでも、非常にレベルが高い。これは敵わないと思い、音楽の道をあきらめる決心をしました。

とはいえ、音楽以外でも数多くの貴重な経験をすることができました。バックパッカーでヨーロッパ各国を巡った際には、自分と同じような旅行者ともたくさん出会いました。そこで感じたのは「いずれは日本にも、多くの外国人が訪れるようになる。そうした外国人を受け入れるためのシステムや受け皿が、やがて大きなビジネスになるのではないか」ということです。

——まさに今、日本はそうした状況になっていますね。

長浜 ロンドンから帰国して地元の広告代理店に勤務し、そこでインターネットメディアの可能性に気づき、29歳で退

社・独立してアットランドを設立しました。先ほども言いましたが、最近では多言語対応のホームページ制作の依頼も増えてきています。かつて自分がヨーロッパで感じたことが現実になりつつあると実感しますね。

——今後、会社をどのように発展させていくお考えですか。

長浜 以前は、東京進出を狙っていた時期もありました。でもインターネットに関わる仕事は、どんな場所においても日本全国のお客さまを相手に仕事ができるというメリットがあります。もちろん打合わせなどで現地に出張することもあるでしょうが、必ずしも東京に拠点を置く必要はないかなと思います。

豊かな自然に囲まれて仕事ができるいまの環境を大切にしながら、まずは地元を中心にしっかり事業の足場を固めていきたいですね。

——本日はありがとうございました。